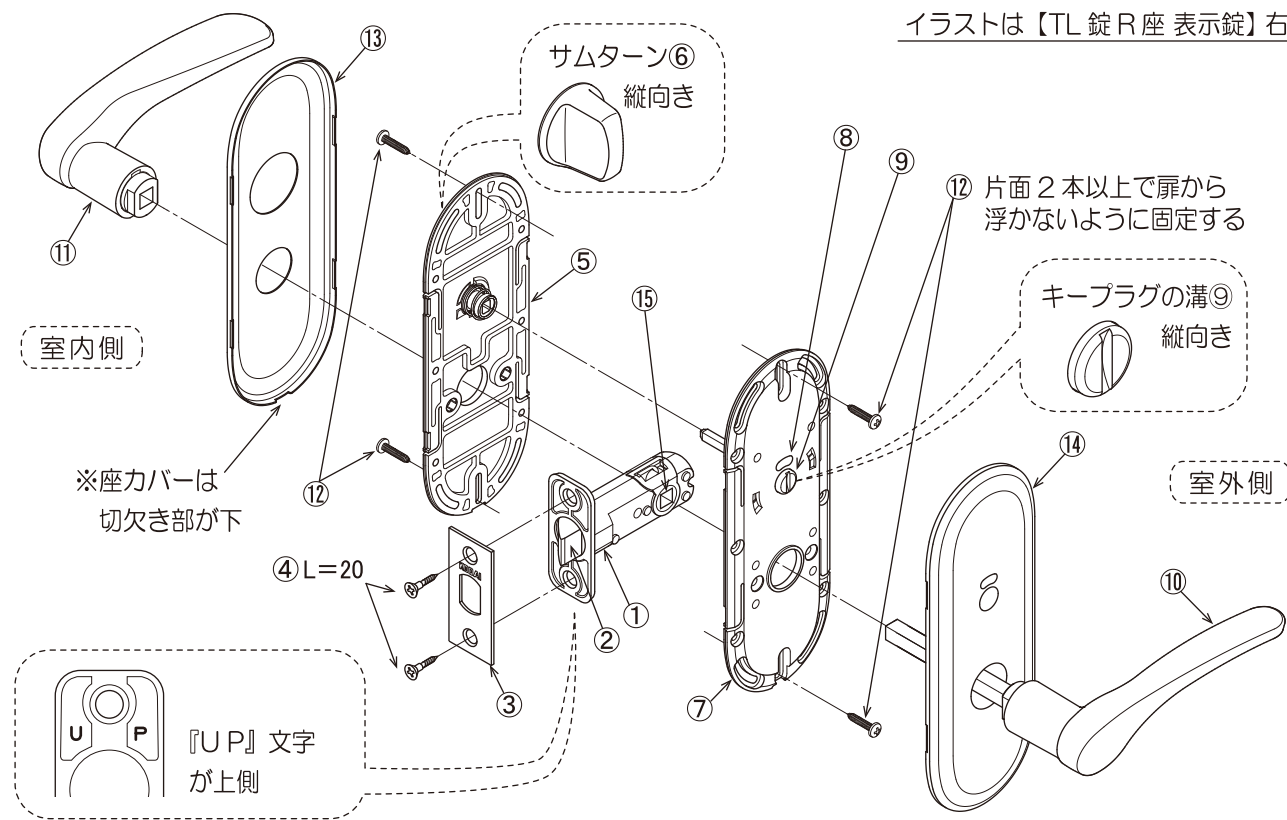
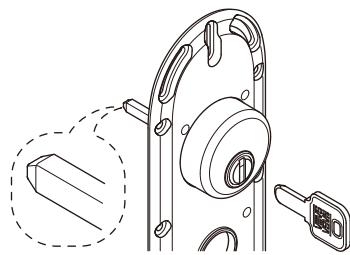


※ 締め付けの際は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。  
ねじ穴の破損および錠・座本体などを傷めるおそれがあります。  
※ 取付ねじ等は、しっかりと固定し飛び出しのないように取り付けてください。

イラストは【TL錠R座表示錠】右吊元仕様

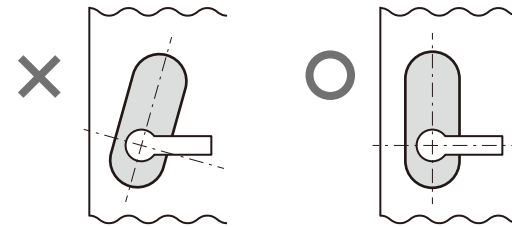


## A：シリンダー付間仕切錠の取り付け時



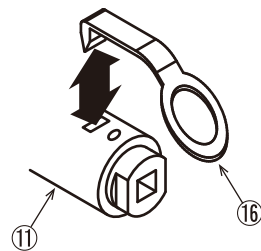
鍵を抜き取り  
キープラグの向きが  
縦長になっているのを  
確認し室内側補強座⑤  
のサムターン⑥角穴に  
セットします。

## B：補強座の取り付け

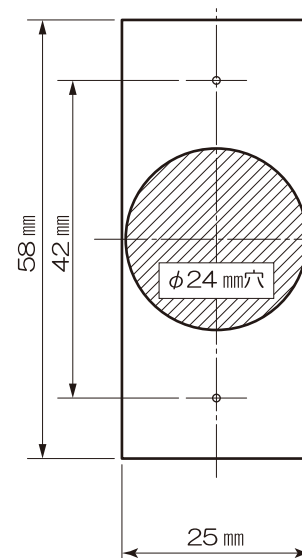


補強座が傾いて固定されないよう、角度に注意して  
取り付けてください。

## C：ワンタッチレバーの取り外し方



解除ブッシュ⑫を図のように  
レバーハンドル⑪裏面の穴に  
差し込んだ状態で  
角芯棒付レバーハンドル⑩を  
抜き取ります。



バックセット 51 mm

彫込深さ 72 mm

(バックセット 60 mm時、彫込深さ 81 mm)

間仕切錠・表示錠・シリンダー付間仕切錠  
の場合φ21 mm貫通穴を開けてください

φ21 mm穴

102 mm

45 mm

57 mm

## 1 吊元の確認と錠の取り付け

1. 「左吊元」の場合は、錠①のラッチボルト②を廻してあわせてください。
2. 錠①を図の向きで、扉加工部に差し込みます。(『UP』文字が上側になるように取り付け)
3. 錠①とフロント板③をあわせて、固定ねじ(L=20)④2本で取り付けます。(フロント板は『KODAI』刻印を上側にする)

## 2 座の取り付け

1. 室内側補強座⑤を室内側にセットします (セット時、サムターンツマミ⑥は縦向き)。
2. 室外側補強座⑦をセットします (表示錠の時、表示⑧は青、キープラグ溝⑨は縦向き。  
シリンダー付間仕切錠の時は右上『A：シリンダー付間仕切錠の取り付け時』を参考にセットしてください)。



角芯棒側レバーハンドル⑩を仮セットし、錠が正常に作動することを確認してください。  
確認後に反対側のレバーハンドル⑪も仮セットし、右上の『B：補強座の取り付け』を参考に補強座の固定位置を  
確認してください。固定位置がずれると、レバーハンドルの動きに支障がでることがあります。

3. 補強座を固定ねじ⑫4～8本で取り付けます。  
※ 補強座固定ねじ⑫の取り付け位置は、扉の切欠穴に合わせて選べます。扉から浮かないように取り付けてください。
4. 仮固定のレバーを右上『C：ワンタッチレバーの取り外し方』を参考に外します。
5. 座力バー⑭⑬を嵌め込みます。『切欠き部が下』に注意してください。

## 3 ワンタッチレバーハンドルの取り付け

1. 角芯棒付レバーハンドル⑩を錠角穴部⑮に差し込みます。反対側レバーハンドル⑪をセットしてください。  
※ ハンドルセットは、軽く差し込むだけで固定されます。強く押さえ過ぎると動きに支障がでることがあります。  
その時は右上『C：ワンタッチレバーの取り外し方』を参考にゆめ、適正な位置にあわせてご使用ください。